



平成22年度

SEASON 4

平成23年 2月28日

全校児童数

御館小学校・下枝分校 学校だより

文責：校長 松本 学

145名

黒石みかげ 43

磨け われらは 黒石みかげ



先日は、授業参観～学年懇談会、各専門部会～常任委員会へのご参加、誠にありがとうございました。お陰様で、今年度、各クラスの学級運営・学校運営とも、大きな問題もなく無事に終了いたしました。また、PTA関係の全ての事業が順調に進み、次年度へのバトンタッチもうまくいきました。ひとえに、保護者の皆さまと地域の皆さまのご支援の賜と感謝しております。明日から3月、雪の中、弥生を迎えます。3月は、授業日が15日です。卒業式という小学校最大の行事に向けて、教職員一同、努力しております。

### 下枝分校で歌舞伎学習

2月21日(月)、下枝分校で、「柳橋歌舞伎」学習を行いました。講師は、柳橋の根本京子さんです。歌舞伎の化粧法では、実際の道具をお持ちいただき、子どもたちはそれを手に取り、興味深そうに見ていました。また、「義経三本桜」を現代風に読み聞かせをしていただきました。子どもたちにとって、初めての「歌舞伎学習」でした。やがて、本校での「歌舞伎学習」から、中学校での「歌舞伎学習」と進みます。

本校荻野教諭の三味線演奏もあり、「柳橋歌舞伎」への理解・関心が高まりました。



【歌舞伎化粧品の臭いをかく】

【カツラを付ける準備】

【歌舞伎に大切な三味線演奏】



【義経三本桜の読み聞かせ】

### 下枝分校でグリーンカレー

2月18日(金)、下枝分校調理室で特別メニューの「グリーンカレー」をつくり、こどもたちの給食に驚きと美味しさを届けました。グリーンカレーは、郡山市が地産地消を目的に地元グルメとして推奨している料理です。

配膳時にグリーンカレーを初めて見た子どもたちは、半信半疑でしたが、食べ始めると大変おいしい味なので、びっくりしていました。とくに、具として、入れたカボチャの甘みが引き立ちました。



【おいしい！】



【恐る恐る？配膳】



【特製グリーンカレー】

参考材料と調理のポイント

レシピは学校でお教えいたしますので、ご連絡下さい。

- 材料：ホワイトカレールー（一般には市販されていませんが、簡単に手に入ります）
  - ：ハウレンソウのピューレ（市販されている）
  - ：香辛料（ガラムマサラ、カレーペースト）（市販されている）
  - ：その他は、普通のカレーと一緒にです。（グリーンの色に引き立つ野菜がよい）
- 直接、下枝分校調理員にお電話しても構いません。



授業参観ありがとうございました。

2月25日(金)の授業参観は、いかがだったでしょうか?お忙しいところお出でいただき、感謝申し上げます。最後の授業参観でしたが、進級・進学を目の前にして、子どもたちの学習の様子や授業態度等、成長の跡が見られたと思います。

同日、下枝分校では、下枝分校会が開催され、本校では、PTA常任委員会が開催されました。それぞれ、今年度の反省・次年度の計画・三役の選考等が行われ、4月のPTA総会(分校総会)に臨みます。今年度PTA役員の方々には、大変お世話になりました。



【1年生の授業】



【2年生の授業】



【3年生の授業】



【4年生の授業】



【5年生の授業】



【6年生の授業】



【下枝1年生の授業】



【下枝2年生の授業】



【下枝3年生の授業】

### 第2回PTA常任委員会の実施

PTA常任委員会では、平成22年度御館小PTA表彰者の方々  
が承認され、現PTA会長：横田朝仁さんと今年度本校PTAを退  
会する、宗像幸雄さん、横田秀夫さん、横田隆さん、三瓶昇さん、  
滝田力さんの6名の方々が受賞されます。



【第2回PTA常任委員会の様子】



【下枝分校会の様子】

2月28日(月)昨夜からの雪で、景色も一転して、また冬に戻ったようです。しかし、連日の晴天のせいで、1月から凍っていたプールの水も、先週には、すっかり融け、来るべき春を感じます。卒業式まで16日になりました。そこで、

### 交通事故等の防止

これから、下記の事故が懸念されます。元気に進学・進級できるように気を付けて登下校・帰宅後の生活を保護者・学校で指導していきましょう。

交通事故の防止(飛び出し、自転車、道路での遊び・ふざけ等)

野外での事故防止(凍った池や川での転落、危険な場所での遊び)

学校校舎内での事故防止(廊下等での走り、教室でのふざけ)

保護者の皆さまも本校教職員も「交通事故防止」に努めましょう!

### 御館小学校教育目標

《スローガン：みがけ我らは黒石みかげ》

み：みんなで 助け合う 子ども  
か：かんがえ 伝える 子ども  
げ：げんきに きたえる 子ども

いつも心の中に

